



# 大樹

岩田小学校だより No. 22

令和3年1月6日

学校教育目標

「笑顔いっぱい 夢いっぱい」

新学期が始まりました。朝、校門の辺りで子どもたちを迎えていると、いつもより元気な声で挨拶できている子どもが多いと感じます。「頑張りたい。こうしよう。」という新年の抱負を胸に抱き、3学期をスタートした思いが挨拶に表れています。この思いを大切に、指導・支援できるよう努めます。本年も、よろしくお願いいたします。



令和2年度 3学期始業式 校長の話

## 『1年間のまとめ～感謝・希望いっぱいの3学期に～』

新しい年、2021年（令和3年）になりました。始業式の初めに教頭先生が、「令和2年度3学期始業式」と言いましたね。「あれっ？」と思った人はいませんか。1月から令和3年になりました。でも3学期の終わりまでは令和2年度なんです。どうしてなのか、またクラスの先生の話聞いて、確かめてほしいです。

令和3年は「なにどし」ですか。そうです、丑年ですね。皆さんは、十二支の動物を全部言えますか。（子丑寅卯…と多くの子が反応する）12月の終わりに、ホワイトボードクイズにも出しました。どうして十二支の2番目が牛なのかは、いろいろな話があります。岩田小の図書室にも、「十二支のはじまり」「十二支ものがたり」の絵本がありました。幼稚園やこども園、保育園で絵本の読み聞かせをしてもらったり、十二支の歌を歌ったりした子も多いと思います。「十二支のはじまり」はこんなお話でしたね。『神様が動物の王様を決めるために競争させたときに、牛は自分が歩くのが遅いことを知っていたので、前の晩のまだ暗いうちに出発しました。その牛の背中に飛び乗って来たネズミがゴール前で飛び降りて1番になり、牛は2番に…。そのために十二支の2番目は牛になったと言われています。』これは日本だけではなく、同じような言い伝えがある外国もあるそうです。

牛は、力持ちで、昔は、荷物を運ぶための働く力として人間の生活に欠かせない大切な動物でした。とてもよく働く姿から、先を急がずに一步一步着実に物事を進めることが大切な年、結果につながる道をコツコツと積み上げていく時期とも言われています。急がずに、一步一步確実に物事を進めていくのは、1年間のまとめの3学期にはとても大切です。

では、3学期は何ステージですか。「**花**」のステージですね。1年間で育てた力を大きく咲かせるときです。「花」のステージの合い言葉は、「**感謝・希望**」です。「感謝」の気持ちを表す言葉と言えど何でしょう。そう、「ありがとう」がありますね。ほんの1秒くらいで言える短い言葉です。自分の成長を感じながら、自分の周りの人たちへ「ありがとう」がたくさん言える3学期にしましょう。もう一つの「希望」の気持ちを表す言葉は何があるでしょう。これは、一人一人違ってたくさんありますね。次の学年に向かって頑張っていく自分自身にどんな言葉を言いますか。「こういうふうにやってみよう」という「志」にも似ています。



「感謝・希望」をいっぱいにするために、やはり大切なのは「**考動**」です。全員で、自分たちの力で、「ありがとう」「やってみよう」がいっぱいの3学期にしていきましょう。

